

平 成 2 8 年 度

福岡市交通安全実施計画の主な実績

福岡市交通安全対策会議

目 次

交通安全施設等整備事業（公安委員会）	1
交通安全施設等の現況（公安委員会）	1
交通安全施設等整備事業（福岡国道事務所）	2
交通安全施設等整備事業（福岡市道路下水道局）	2
交通安全施設等整備事業（福岡市道路下水道局）	3
交通安全施設等整備事業（福岡北九州高速道路公社）	3
交通安全施設等整備事業（福岡市港湾空港局）	3
効果的な交通規制（公安委員会）	
（1）交通事故抑止対策としての交通規制	4
（2）交通規制の見直し	4
（3）新設（改良）道路の安全対策としての交通規制	4
（4）自転車通行の安全対策としての交通規制	5
駐車対策（福岡市道路下水道局）	
「福岡市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」の適用を受けた 附置義務駐車施設や駐車場法に基づく届出（路外）駐車場の整備	5
交通需要マネジメントの推進（福岡市住宅都市局）	5
道路使用の適正化	
（1）不法占用物件等の排除（福岡市道路下水道局）	6
（2）路上における違法掲出広告物 （はり紙、はり札、立看板）の除去作業（福岡市住宅都市局）	6
自転車駐車対策	
市営自転車駐車場整備状況（福岡市道路下水道局）	6
子供の遊び場等の確保	
（1）街区公園等の整備（福岡市市民局・住宅都市局）	7
（2）校庭開放（福岡市こども未来局）	7
危険物運搬車両等の立入検査及び危険物取扱者保安講習（福岡市消防局）	7
児童・生徒・高齢者等に対する交通安全教育	
（1）交通安全教室（福岡市市民局）	8
（2）保健・安全教育担当者連絡会（福岡市教育委員会）	8
（3）子どもの交通安全に関する配付物（福岡市市民局）	8
広報活動の充実（福岡市市長室・市民局）	9
自動車事故対策機構による自動車運送事業等に従事する 運転者に対する適性診断（九州運輸局福岡運輸支局）	10
自動車運送事業者の行う運行管理等の充実（九州運輸局福岡運輸支局）	10
気象情報等の充実（福岡管区气象台）	11
自動車検査体制の充実（九州運輸局福岡運輸支局）	12
自動車整備の充実（九州運輸局福岡運輸支局）	12
救命講習会実施状況（福岡市消防局）	13
交通事故相談活動（福岡市市長室）	13
踏切道の立体交差化及び改良等（九州運輸局・鉄道事業者・福岡市道路下水道局）	
（1）構造改良	14
（2）踏切保安設備の整備	14
（3）その他踏切道の交通の安全と円滑化を図るための措置	14
目標達成に向けた各区の施策	15

交通安全施設等整備事業（公安委員会）

（単位：千円）

種 別	事 業 名	事 業 の 実 績	
		事 業 量	事 業 費
交 通 安 全 施 設 等 整 備 事 業	交通管制センター ○交通管制システム	1式	234,792
	信号機 ○新 設 ○改 良	10基 214基	612,063
	道路標識 ○大型式 ○路側式	15本 1,791本	91,436
	道路標示 ○横断歩道（新設等） ○実線標示（新設等） ○図示標示（新設等）	931本 429箇所	59,323
合 計		—	997,614

交通安全施設等の現況（公安委員会）

区 分		数 量
信 号	集 中 式	727 基
	定 周 期 式	712 基
	押 ボ タ ン 式	497 基
	感 応 式	66 基
	一 灯 式	332 基
	踏 切	1 基
	計	2,335 基
道 路 標 識	大 型 式 標 識	1,604 本
	路 側 式 標 識	44,778 本
道 路 標 示	横 断 歩 道	9,646 本
	実 線 標 示	372 km
	図 示 標 示	26,784 箇所

（注）数値は平成28年度末現在

交通安全施設等整備事業（福岡国道事務所）

（単位：千円）

事業内容	事業の計画		事業の実績	
	事業量	事業費	事業量	事業費
横断歩道及び交差点改良	3箇所	207,000	3箇所	207,000
国道 3号 防護柵 区画線 視線誘導標		24,000		24,000
国道201号 防護柵 区画線 視線誘導標		20,000		20,000
国道202号 防護柵 区画線 視線誘導標		52,000		52,000

交通安全施設等整備事業（福岡市道路下水道局）

（単位：千円）

種別	事業の計画		事業の実績		
	事業量	事業費	事業量	事業費	
一 種	歩道	6.4 km	1,953,850	11.6 km	3,855,461
	自転車歩行者道	3.1 km	1,131,400	2.4 km	754,354
	交差点改良	11箇所	474,100	8箇所	128,964
	立体横断施設等	0橋	0	1橋	1,944
	その他（注1）	—	317,800	—	201,856
	小計	—	3,877,150	—	4,942,579
二 種	防護柵	6.3 km	171,150	8.0 km	181,200
	照明灯	1,420基	428,700	1,666基	435,424
	反射鏡	356基	94,950	265基	69,758
	道路標識	1基	4,120	105基	45,291
	区画線	67.2 km	86,400	129.6 km	71,852
	自転車駐車場	13箇所	424,300	13箇所	378,845
	その他（注2）	—	493,563	—	700,784
	小計	—	1,703,183	—	1,883,154
合計	—	5,580,333	—	6,825,733	

（注1） その他は、路側のカラー化等の整備費。

（注2） その他は、歩道の交差点部段差解消や視覚障がい者誘導用ブロック整備費。

交通安全施設等整備事業（福岡市道路下水道局）

（単位：千円）

事業内容	事業の計画		事業の実績	
	事業量	事業費	事業量	事業費
特定交通安全施設等整備事業		2,767,500		3,224,729
地方単独交通安全施設等整備事業		2,812,833		3,601,004
計		5,580,333		6,825,733

交通安全施設等整備事業（福岡北九州高速道路公社）

（単位：千円）

事業内容	事業の計画		事業の実績	
	事業量	事業費	事業量	事業費
区画線	1,800m	2,220	6,789m	18,639
排水性舗装	7,100㎡	221,430	7,090㎡	226,365
事業費計	—	223,650	—	245,004

交通安全施設等整備事業（福岡市港湾空港局）

（単位：千円）

事業内容	事業の計画		事業の実績	
	事業量	事業費	事業量	事業費
臨港地区内区画線	5,628m	5,683	37,834m	23,190
臨港地区内防護柵	26m	374	0m	0
臨港地区内照明灯	19基	26,555	19基	27,496
臨港地区内道路標識	19基	6,083	23基	2,222

効果的な交通規制（公安委員会）

（１）交通事故抑止対策としての交通規制

種 別	事業の実績	
	区 間(箇所)	延 長 (m)
最 高 速 度	14	8,360
駐 車 禁 止	5	1,830
一 方 通 行	3	280
一 時 停 止	19	—
右 折 等 禁 止	1	—
計	42	10,470

（２）交通規制の見直し

種 別	事業の実績	
	区 間(箇所)	延 長 (m)
最 高 速 度	90	104,650
は み 出 し 禁 止	0	0
駐 車 禁 止	12	2,190
一 方 通 行	8	1,210
歩 行 者 用 道 路	7	515
計	117	108,565

（３）新設（改良）道路の安全対策としての交通規制

種 別	事業の実績	
	区 間(箇所)	延 長 (m)
最 高 速 度	7	8,080
駐 車 禁 止	14	15,920
は み 出 し 禁 止	0	0
一 方 通 行	8	3,347
通 行 禁 止	1	930
一 時 停 止	4	—
右 折 等 禁 止	6	—
計	41	30,097

(4) 自転車通行の安全対策としての交通規制

種 別	事業の実績	
	区 間(箇所)	延 長 (m)
自転車専用通行帯	4	4,020
自転車歩道通行可	2	310
自転車歩道通行部分指定	2	2,560
計	8	6,890

駐車対策 (福岡市道路下水道局)

「福岡市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」の適用を受けた附置義務駐車施設や
 駐車場法に基づく届出(路外)駐車場の整備

種 別	平成27年度まで		平成28年度(実績)		平成28年度まで	
	箇所数	施設台数	箇所数	施設台数	箇所数	施設台数
附置義務 駐 車 場	3,018 (86)	128,112 (15,915)	62 (4)	1,005 (312)	3,080 (90)	129,117 (16,227)
届出駐車場	309	56,144	21	4,127	320	60,241
計	3,327	184,256	83	5,132	3,410	189,388

※届出駐車場の集計には、附置義務駐車施設に該当するものを除く。

() 内は、届出駐車場の内数。

交通需要マネジメントの推進 (福岡市住宅都市局)

事業内容	実 施 状 況	事 業 主 体
自動車から公共交通機関への利用転換の促進	①モビリティ・マネジメントの実施 各区への転入者を対象に、地下鉄、バスのパンフレット等をセットにして配布。	① 西鉄, 福岡市
	②パーク・アンド・ライド (P&R) の実施 商業施設等と連携した取り組みを実施。	② 施設毎に協議会を設置している。
	③乗り継ぎ情報案内の実地 地下鉄, バスの車内モニターを活用した相互乗り換え案内の実施	③ 西鉄, 福岡市

道路使用の適正化

(1) 不法占用物件等の排除 (福岡市道路下水道局)

(単位：千円)

事業内容	事業の計画		事業の実績	
	事業費		事業費	
不法占用物件除却	566		772	

(2) 路上における違法掲出広告物(はり紙、はり札、立看板)の除却作業

(福岡市住宅都市局)

(単位：千円)

事業内容		事業の計画		事業の実績	
		事業量	事業費	事業量	事業費
除去作業	職員による除却		(嘱託員人件費) 29,998		
	委託 徒歩による除却	延 686回	(委託料) 5,526	延1,093回	(委託料) 5,630
	トラックによる除却	延 494日	(委託料) 12,070	延413日	(委託料) 14,980
路上違反広告物追放 推進団体への支援			(ボランティア保険等) 245	延2,756人	(ボランティア保険等) 66
福岡市路上違反広告 物問題対策協議会			(事業負担金) 0		(事業負担金) 0
計			47,839		20,676

自転車駐車対策

市営自転車駐車場整備状況 (福岡市道路下水道局)

事業の計画		事業の実績		平成28年度末まで	
設置箇所	収容台数	設置箇所	収容台数	設置箇所	収容台数
0	227	0	58	133 (94)	52,420 (43,146)

* () 内は、有料自転車駐車場の状況で内数

子供の遊び場等の確保

(1) 街区公園等の整備 (福岡市市民局・住宅都市局)

公園種別	事業の計画		事業の実績	
	箇所	面積 (㎡)	箇所	面積 (㎡)
幼児公園	641	213,825	641	213,825
街区公園	707	1,580,284	707	1,580,284
近隣公園	74	1,195,861	74	1,195,861
地区公園	10	517,313	10	517,313
総合公園	9	2,610,277	9	2,610,277
運動公園	6	962,419	6	962,419
墓園	3	575,376	3	575,376
国営公園	1	3,639,105	1	3,639,105
都市緑地	185	933,674	185	933,674
緑道	23	220,971	23	220,971
児童広場	44	18,195	44	18,195
地域交流広場	14	36,361	14	36,361
計	1,717	12,503,661	1,717	12,503,661

(2) 校庭開放 (福岡市こども未来局)

(単位：千円)

事業内容	事業の計画		事業の実績	
	事業量	事業費	事業量	事業費
昼間校庭開放事業	138箇所	65,966	138箇所	64,120
放課後等の遊び場づくり事業 (わいわい広場)	108校	290,486	105校	266,716

危険物運搬車両等の立入検査及び危険物取扱者保安講習 (福岡市消防局)

事業内容	事業の計画	事業の実績
立入検査	2時間	2時間
講習会	36時間	36時間

児童・生徒・高齢者等に対する交通安全教育

(1) 交通安全教室 (福岡市市民局)

区 分	幼児	幼児・保護者	小学生	中学生	高校生	特別支援学校
回 数	257	10	267	49	19	2
参加人員	33,132	1,130	30,794	15,683	12,389	150
区 分	大学生	専門学校生	留学生	保護者	高齢者	一般
回 数	7	0	8	9	91	25
参加人員	1,441	0	323	475	3,754	679
区 分	計					
回 数	744					
参加人員	99,950					

(2) 保健・安全教育担当者連絡会 (福岡市教育委員会)

(単位：千円)

事 業 内 容	事業の計画		事業の実績	
	事業量	事業費	事業量	事業費
保健・安全教育担当者連絡会	年1回	0	年1回	0

(3) 子どもの交通安全に関する配付物 (福岡市市民局)

(単位：千円)

品 名	配 布 対象者	事業の計画		事業の実績	
		事業量	事業費	事業量	事業費
1 黄 色 い 帽 子	小学新1年生	14,500個	5,510	15,000個	5,184
2 交通安全ランドセルカバー	〃	14,500枚	2,175	15,000枚	1,751
3 子どもたちのセーフティプラン	市立小学 新1年生、 新4年生、 市立中学 新1年生	市HPにて公表	—	市HPにて公表	—

事業内容	事業の計画		事業の実績		備考
	事業量	事業費	事業量	事業費	
市政だより	—	—	4回	—	交通安全運動 飲酒運転撲滅
ホームページ	随時	—	随時	—	○市ホームページへの掲載 飲酒運転撲滅大会 交通安全啓発 自転車安全利用の推進 高齢者の交通安全対策
DVD ビデオ貸出し	—	—	19回	—	
ポスター・チラシなどの啓発物	—	—	ポスター 2,200枚 チラシ 200,900枚	680	四季の交通安全運動のほか、飲酒運転撲滅を中心に啓発物を作成
飲酒運転撲滅啓発	TVCM・Youtube・デジタルサイネージ	随時	随時	—	飲酒運転撲滅キャンペーン (12月11日～31日) 福岡城さくらまつりにおける啓発 (3月25日, 26日)
	新聞広告	—	2回		

自動車事故対策機構による自動車運送事業等に従事する運転者に対する適性診断
(九州運輸局福岡運輸支局)

事業の内容	事業の計画	事業の実績
運転者適性診断	定期 12,820名 初任 6,310名 適齢 2,670名 特定 125名	定期 13,244名 初任 6,214名 適齢 3,315名 特定 86名
	計 21,925名	計 22,862名

自動車運送事業者の行う運行管理等の充実 (九州運輸局福岡運輸支局)

事業の内容	事業の計画		事業の実績	
	実施時期	受講予定人員	実施時期	受講人員
運行管理者等一般講習	平成28年7月～ 平成29年2月	24回 3,200名	平成28年7月～ 平成29年2月	24回 3,140名

気象情報等の充実（福岡管区气象台）

事業内容	実施状況
天気予報・ 季節予報の発表	日々の天気予報 毎日発表（分布予報・時系列予報）
	週間天気予報 毎日発表
	1か月予報 毎週木曜日発表
	3ヶ月予報 原則毎月25日発表
	暖候期予報 原則毎年2月25日発表
	寒候期予報 原則毎年9月25日発表
気象説明会	3ヵ月予報発表日（毎月1回）及び暖・寒候期予報発表日（2月・9月） その他随時実施 場所：福岡管区气象台、参加人員：毎回約10名（報道機関等） 合計 12回
	部外における気象関係の講演、説明会等の回数 合計 51回
防災気象連絡会	平成28年5月20日 場所：福岡市防災センター 参加人員：81名 平成28年6月10日 場所：福岡管区气象台 参加人員：14名（報道機関等）
台風説明会	3回実施（場所：福岡管区气象台 防災連絡室） ・9月2日（台風第12号） 出席機関及び人数 25機関42名 ・9月19日（台風第16号） 出席機関及び人数 20機関29名 ・10月3日（台風第18号） 出席機関及び人数 25機関35名
気象警報・ 注意報等の 発表	・特別警報発表回数 福岡市 0回 ・警報発表回数 福岡市 18回 ・注意報発表回数 福岡市 265回 ※個々の警報・注意報発表回数をカウントする ・御笠川の洪水予報の回数 洪水警報0回 洪水注意報0回 ・土砂災害警戒情報 3回 ※発表から解除までを1回とカウントする。
津波警報・注意報 の発表	津波予報区「福岡県日本海沿岸」に発表した津波警報・注意報 警報発表回数 0回 注意報発表回数 0回
緊急地震速報の 発表	予報区域「福岡県福岡」に発表した緊急地震速報（警報） 警報発表回数 6回
地震情報	福岡市内の震度観測点で震度1以上を観測した地震の回数 地震情報 112回
気象情報等の発 表	福岡県気象情報（高温注意情報を除く） 180回
資料の作成・配付	「九州・山口県 防災気象情報ハンドブック2016」 毎年1回発行 配布先：防災機関、報道機関等 90機関 平成28年5月発行

自動車検査体制の充実（九州運輸局福岡運輸支局）

事業内容	事業の計画	事業の実績
指定自動車整備工場 立入監査	1,069工場に対して 1工場年1回の立入監査	483工場に対して 1工場年1回の立入監査
自動車検査員研修	実施時期 平成29年1月～2月 実施回数 18回 研修予定人員 3,400名	実施時期 平成29年1月～2月 実施回数 17回 研修人員 3,935名

自動車整備の充実（九州運輸局福岡運輸支局）

事業内容	事業の計画	事業の実績
整備主任者研修	実施時期 平成28年10月～11月 実施回数 19回 研修予定人員 3,800名	実施時期 平成28年10月～11月 実施回数 19回 研修人員 3,542名
整備管理者研修	実施時期 平成28年7月～平成29年3月 実施回数 8回 研修予定人員 2,600名	実施時期 平成28年7月～平成29年3月 実施回数 8回 研修人員 2,596名

平成28年中 救命講習会実施状況（福岡市消防局）

講習別 区別	応急手当普及員講習		上級救命講習		普通救命講習		救命入門コース		救急講習	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
東	—	—	—	—	33	980	8	240	1	40
博多	—	—	—	—	54	1,734	13	265	0	0
中央	—	—	—	—	13	274	5	123	0	0
南	—	—	—	—	12	287	8	241	0	0
城南	—	—	—	—	12	296	4	77	2	70
早良	—	—	—	—	33	891	2	79	0	0
西	—	—	—	—	31	699	10	300	0	0
本部	7	190	7	256	152	7,557	83	3,990	26	1,667
福岡市民 防災センター	—	—	—	—	—	—	—	—	403	16,038
計	7	190	7	256	340	12,718	133	5,315	432	17,815

- ※応急手当普及員講習（24時間講習、認定証交付）
- 上級救命講習（8時間講習、修了証交付）
- 普通救命講習（3時間講習、修了証交付）
- 救命入門コース（90分講習、参加証交付）
- 救急講習（3時間未満の講習、修了証なし）

交通事故相談活動（福岡市市長室）

事業内容	事業の計画	事業の実績
	事業量	事業量
交通事故相談所の運営	700件	434件
研修	5回	5回
広報	ふくおか市生活ガイド	65,000部
	市民相談一覧表	6,000部
	交通事故相談者のためのパンフレット	300部
	市ホームページ	常時

踏切道の立体交差化及び改良等（九州運輸局・鉄道事業者・福岡市道路下水道局）

（１）構造改良

（単位：千円）

事業者名	事業内容	事業の計画		事業の実績		備考
		事業量	事業費	事業量	事業費	
福岡市	有	1	13,000	1箇所	56,400	
九州旅客鉄道	有	5	333,101	拡幅3箇所	163,497	三平、野中、境谷
西日本鉄道	有	3	199,230	拡幅3箇所	206,270	香椎花園前2号 他2箇所

（２）踏切保安設備の整備

（単位：千円）

事業者名	事業内容	事業の計画		事業の実績		備考
		事業量	事業費	事業量	事業費	
九州旅客鉄道	遮断機の整備	2	10,000	1	12,000	坂石2号
西日本鉄道	障害物検知装置の整備	2	31,000	3	35,000	香椎花園前2号 、都府楼前6号 紫3号
	踏切支障報知装置 操作器の整備	7	5,600	6	5,400	下大利12号、他 5箇所
	オーバーハング型 警報装置	1	3,000	2	6,000	香椎花園前2号 、紫3号

（３）その他踏切道の交通の安全と円滑化を図るための措置

- 踏切道通行者に対し踏切支障時における緊急装置・措置の周知徹底（JR九州）
- 交通安全運動期間中に、模擬踏切道によるトリコ脱出講習会の開催（JR九州）
- 踏切事故防止のDVDを作成し、九州内全ての自動車学校に配布（JR九州）
- 踏切通行者、車に対し現地指導の実施（西日本鉄道）
- ポスター掲示及び協力要請文による活動（西日本鉄道）
- 交通安全協会主催の安全運転管理者講習会にて踏切に関する講話の実施（西日本鉄道）

種 目	区の抑止目標達成に向け実施した施策
行 政 区	東 区

1 施策の概要

区の抑止目標達成に向け、平成28年度は下記の施策を実施し、東警察署、東福岡交通安全協会、東区交通安全推進協議会などの関係機関と共に、交通事故防止に取り組んだ。

(1) 交通安全思想の普及徹底

ア 広報啓発活動

- ・四季の交通安全運動キャンペーン
- ・飲酒運転撲滅キャンペーン
- ・自転車の安全利用キャンペーン
- ・交通安全のぼり旗、ポスターの掲示
- ・交通安全啓発ビデオ、DVDの貸出
- ・交通安全教室

イ 交通安全教室実施結果

対象	実施回数	参加人員
保育所・幼稚園	60回	8,075人
幼児と保護者	2回	194人
小学生	56回	6,076人
中学生	7回	1,158人
留学生	1回	55人
保護者	2回	57人
高齢者	2回	220人
計	130回	15,835人

(2) 交通安全施設整備

- ・歩道、路面標示、カーブミラー、区画線等の新設、補修
- ・関係機関との連絡調整

2 問題点及び課題

平成28年中の東区における状況として、交通事故発生件数は1,932件で前年比77件減、死者数6人で前年比3人増、傷者数2,497人で前年比144人減であった。

全体的に減少傾向ではあるが、依然として高齢者による事故、自転車関連の事故、さらには悪質な飲酒事故も後を絶たない状況であるため、今後も引き続き下記の3点を中心に、積極的に活動していく必要があると考えられる。

(1) 四季の交通安全キャンペーンや飲酒運転撲滅キャンペーンに職員が積極的に参加する。

(目標：東区職員600人参加)

(2) 東区役所主催の飲酒運転撲滅キャンペーンの実施

(花火大会、放生会、高齢者乗車券、四季の交通安全キャンペーンなど)

(3) 交通安全教室、講習会、研修会の実施

種 目	区の抑止目標達成に向け実施した施策
行 政 区	中 央 区

1 施策の概要

区の抑止目標の達成に向け、校区交通安全推進委員会、警察、交通安全協会等の関係機関が一体となり、交通安全思想の普及と事故防止を図った。

(1) 交通安全思想の普及

ア 啓発活動

- ・四季の交通安全運動期間中に街頭キャンペーンを実施。
- ・春の中央交通安全フェア in 中央を実施。（ライオン広場～新天町商店街）

イ 交通安全教室の実施

対 象	実 施 回 数	参 加 人 員
幼 稚 園 ・ 保 育 園	31回	3,186人
小 学 生	29回	3,442人
中 学 生	4回	1,446人
高 校 生	1回	750人
地 域（高 齢 者）	6回	208人
一 般	3回	43人
保 護 者	1回	138人
計	75回	9,213人

ウ 広報活動

- ・四季の交通安全運動期間中に区役所1階で交通安全パネル展を実施。
- ・市政だより中央区版や区役所1階のコミュニティビジョンを活用した広報活動を実施。

エ 子どもと高齢者の交通事故防止活動

- ・9月1日「中央区交通安全の日」に、全校区で児童等の登校指導を実施。
- ・通学路上での児童の飛び出し事故の防止のため、注意を喚起する路面シールを貼付した。

オ 自転車の安全利用に関する推進活動

- ・毎月8日の自転車マナーアップの日に、地域と共働したキャンペーンを実施。

カ 飲酒運転撲滅に関する活動

中央区商店街連合会や専門学校、企業、地域等と共働で飲酒運転撲滅キャンペーンを実施。

(2) 道路交通環境の整備

ア 地域からの道路環境整備の改善要望を受け、速やかな施設の整備を行った。

イ 中央区内のスクールゾーン路面標示の総点検を行い、補修と新規設置を行った。

2 問題点及び課題

平成28年中の中央区内の交通事故発生件数は1,537件（前年比-284）、死者数3人（前年比+1）、傷者数1,890人（前年比-279）であり、前年と比較して発生件数・傷者数は減少しているが、死者数は増加している。

自転車関連の交通事故発生件数は372件（前年比-102）で、全事故件数の24.2%（全市では21.1%）を占めており、減少傾向ではあるが自転車安全利用の推進が課題となっている。

(1) 自転車安全利用の推進・自転車事故の防止

自転車安全利用の推進ため、小・中学校等での自転車教室を積極的に開催し、自転車マナーの向上を図るとともに、夜間無灯火・歩道での無謀運転が多数見受けられることから、交通ルール・マナーの遵守と自転車の安全利用を呼びかけるため、警察と連携して啓発活動を推進する。

(2) 高齢者交通安全の推進

高齢者の交通事故防止のため、高齢者交通安全教室のより効果的な実施を図る。

(3) 飲酒運転撲滅運動

地域や事業所等と共働した啓発活動を推進するとともに、地域での効果的な取り組みについて支援を行う。

(4) 交差点での交通事故防止

交通事故の多発する交差点付近の歩道に、注意を喚起するための路面シールを貼付するとともに、反射電柱幕等による注意喚起を実施する。

種 目	各区の抑止目標達成に向け実施した施策
行 政 区	南 区

1 施策の概要

(1) 交通安全思想の普及徹底

ア 啓発活動

- ・交通安全教室の実施(幼稚園, 保育園, 小学校, 校区など)
- ・交通安全推進街頭キャンペーン(西鉄大橋駅及び高宮駅周辺)
- ・飲酒運転撲滅キャンペーン(大橋駅西口)
- ・セーフティステーション(西鉄大橋駅東口交差点)
- ・高齢者交通安全キャンペーン(区内スーパー)
- ・FM福岡飲酒運転撲滅ハンドルキーパー運動(大橋駅西口)

※ 交通安全教室開催実績

対 象	実 施 回 数	参 加 人 員
幼 稚 園 ・ 保 育 園	41回	5,380人
小 学 生	62回	5,223人
中 学 ・ 高 校 生	13回	3,894人
特 別 支 援 学 校	2回	150人
一 般	3回	160人
高 齢 者	15回	687人
計	136回	15,494人

イ 広報活動

- ・のぼり・横断幕・懸垂幕の掲示
- ・交通死亡事故多発のチラシ, 交通安全新聞の全校区回覧
- ・市政だより区版への掲載
- ・交通安全啓発パネル展
- ・区役所ロビー内コミュニティビジョンによる啓発

ウ 子ども, 高齢者への交通安全推進活動

- ・子ども達を守ろう! 5000人大作戦!! (各校区)
- ・三世代自転車安全教室の実施
- ・高齢者交通安全教室の実施

(2) 道路交通環境の整備

ア 通学路の歩車分離事業

- ・歩道の設置が困難な通学路の交通安全推進のため, 路側帯のカラー化を実施

イ 交通安全施設整備

- ・歩道, 路面標示(一時停止強調), カーブミラー, 防護柵, 照明灯, 区画線等の新設及び補修を実施

2 問題点及び課題

平成28年中の南区における交通事故発生状況は, 発生件数1,623件(前年比150件減), 死者数5人(前年比1人増)負傷者数2,020人(前年比144人減)という状況になっている。特に交通事故発生件数に占める自転車事故の割合が増加している。

- (1) 自転車の夜間無灯火走行や並列走行等交通マナー, 違法駐車等に対し, 苦情が多く寄せられていることから, さらに交通安全の啓発を行う必要がある。
- (2) 交差点及びその付近の交通事故が多発していることから, 交差点付近の交通環境整備を推進するとともに, 交通マナーの啓発に努める必要がある。

種 目	区の抑止目標達成に向け実施した施策
行 政 区	城 南 区

1 施策の概要

ア 啓発活動

- 交通安全教室の実施
(実績)

対 象	実 施 回 数	参 加 人 員
保育園・幼稚園	21回	3,351人
小学生	22回	2,356人
中学生	5回	2,910人
高校生	1回	1,200人
高齢者	9回	350人
一 般	0回	0人
保 護 者	1回	80人
計	59回	10,247人

- ・新入学児童交通安全一斉キャンペーン
- ・交通安全運動キャンペーン（春，夏，秋，年末）
- ・飲酒運転撲滅キャンペーン
- ・子どもを通しての飲酒運転撲滅運動
- ・高齢者交通安全・防犯啓発

イ 参加・体験活動

- ・自転車教室の実施

ウ 広報活動

- ・懸垂幕，のぼり，ポスターの掲出

エ 各校区内交通安全活動の推進

- ・各校区における交通安全活動は，校区交通安全推進団体が校区自治協議会との連携を図り推進する（チラシ回覧・配布，横断歩道誘導，のぼり・看板掲出，ポスター掲示等）

(2) 道路交通環境の整備

- ア 交通安全施設の整備（歩道の整備，道路照明灯の設置，道路反射鏡の設置等）

- イ 道路の新設・改良（道路の舗装及び側溝の新設・補修）

- ウ スクールゾーンの路面標示設置

2 問題点及び課題

城南区における平成28年の交通事故発生件数は714件で，交通事故発生件数の抑止目標である610件以下に対し104件上回り，抑止目標は達成できなかった。

交通事故は依然として後を絶たず，引き続き交通安全施策を推進する必要がある。

また，下記の問題点・課題の解決に向けた取り組みが必要である。

- (1) 無灯火やスピード走行，迷惑駐輪等，自転車利用者のマナーは依然として改善されていない。
自転車利用者のマナーアップの為，毎月8日の「自転車安全利用の日」をはじめとした啓発活動や警察による指導等を強化する必要がある。
- (2) 幹線道路から生活道路への通過交通量の増加等により，交差点及びその周辺における出会い頭の事故が後を絶たない。交通管理者と一体となって，事故多発地点における交通安全施設の重点整備に努める必要がある。
- (3) 子どもと高齢者の交通事故が増加傾向にあるので，交通安全教室を通して，更なる交通安全の推進を図る必要がある。

種 目	区の抑止目標達成に向け実施した施策
行 政 区	早 良 区

1 施策の概要

(1) 交通安全思想の普及徹底

ア 啓発活動

- ・交通安全教室の実施（保育所（園）、幼稚園、小・中・高等学校、高齢者等）
- ・「自転車安全利用の日」街頭キャンペーン（毎月8日）
- ・春の交通安全運動啓発物支援（4月中旬、各校区にてキャンペーン実施）
- ・夏の交通安全運動啓発物支援（7月中旬、各区にてキャンペーン実施）
- ・スケアード・ストレイト交通安全教室（7/11（月） 西南学院高校 参加者2,000名）
- ・夏休み自転車教室（夏休み期間中 対象者：小学生 実施校区2校区 参加者220名）
- ・秋の交通安全運動啓発物支援（9月下旬、各校区にてキャンペーン実施）
- ・年末の交通安全街頭キャンペーン（12/20（火） 西新交差点及び西新商店街 参加者60名）

イ 交通安全教室実施結果

対 象	実 施 回 数	参 加 人 員
保育所（園）・幼稚園	41回	6,250人
小 学 生	30回	5,591人
中 ・ 高 校 生	11回	6,540人
大 学 生	3回	850人
一 般	3回	80人
高 齢 者	11回	380人
計	99回	19,691人

ウ 広報活動

- ・交通安全啓発のぼり・横断幕等の掲出

エ 子ども、高齢者への交通安全推進活動

- ・子どものための交通安全指導者講習会の実施
（8/16（火）交通安全講習・救急救命講習 参加者25名）
- ・高齢者へ交通安全啓発チラシを配布

(2) 道路交通環境の整備

ア 交通安全施設整備

- ・歩道、路面標示（一時停止強調）、カーブミラー、防護柵、照明灯、区画線等の新設及び補修を実施。
- ・歩道の設置が困難な通学路の交通安全推進のため、路側帯のカラー化を実施。

イ 安全安心まちづくり事業

- ・賀茂・有住校区において、安全で安心して快適に暮らせるまちを目指して、地域・行政・警察の共働により、問題点や危険箇所について対応策を検討し、地域と共働したまちづくりを行った。

2 問題点及び課題

平成28年中の早良区における交通事故発生件数は1,079件（前年比58件減）で、死者数7名（前年比1名増）、負傷者数1,363名（前年比53名減）であった。

- (1) 子どもに対しては、発達段階に応じた交通安全教室を実施するとともに、指導者や保護者に対する研修会を実施していく。
- (2) 死者数7名のうち、4名は高齢者であったため、高齢者を対象とした交通安全教室の開催や、交通安全キャンペーン等を行い、啓発を強化していく。
- (3) 自転車利用者の乗車マナーの低下が目立ち、自転車が加害者となる交通事故も増え、社会問題となってきたため、自転車利用者を対象とした交通安全教室や無灯火ゼロキャンペーン等を各校区で行い、自転車乗車マナーの向上を推進していく。

種 目	区の抑止目標達成に向け実施した施策
行 政 区	西 区

1 施策の概要

(1) 交通安全思想の普及徹底

ア 安全安心マップの作成

交通事故が多発する交通危険箇所や、ひったくり等の犯罪危険箇所、災害時の避難所などを示した「安全安心マップ」を校区自治協議会を主体とし、各校区内の各種団体や警察署と連携して作成し各世帯に配布、交通事故等の防止へ向け注意を喚起した。(平成28年度対象4校区(愛宕浜校区、能古校区、今宿校区、元岡校区)実施)

イ 交通安全教室の実施

区 分	実 施 回 数	参 加 人 数
保育所・幼稚園	38回	4,015人
小学生	28回	4,884人
特別支援学校	0回	0人
中・高校生	15回	6,021人
高 齢 者	11回	445人
母 親	1回	150人
一 般	0回	0人
合 計	93回	15,515人

ウ 幼児交通安全指導者研修会

対象：幼稚園(保育園・所)長、保育士、保護者 参加者：48名

エ 春、夏、秋、年末の交通安全運動キャンペーンを実施

交通安全運動期間中にキャンペーンを実施

オ 校区交通安全街頭キャンペーンを実施

校区ごとに交通安全運動期間中にキャンペーンを実施した。

カ のぼり旗、ポスター、チラシ等による広報を実施

区役所周辺等への、のぼり旗の設置やチラシの配布などで区民に広報

キ 飲酒運転撲滅キャンペーンを実施した。

(毎月25日(土日祝日の場合はその前の平日) 姪浜駅にて)

(2) 道路交通環境の整備

ア 一時停止強化事業

交差点での出会い頭等の事故が多発している区域を年次的に整備し、事故防止を図っている。(外側線や交差点クロスマーク等の路面標示)

イ 交通安全施設の新設・補修

歩道、区画線、防護柵、反射鏡、標識、照明灯等及びスクールゾーン路面標示の新設、補修

ウ 交通安全施設等に関する要望事項の調査及び警察との連絡調整

エ 自転車放置禁止区域での放置自転車の撤去

オ 通学路ストップマーク貼付事業

各校区の小学生の通学路を中心に、交差点などの交通危険箇所に路面シール、壁面標識を貼付し、交通事故の防止へ向け注意を喚起した。

(7校区：愛宕浜校区、能古校区、下山門校区、石丸校区、福重校区、北崎校区、今宿校区)

2 問題点及び課題

平成28年中の西区の交通事故発生件数は1,294件で前年比132件減、死者数3人で前年比3人減、負傷者数1,645人で前年比203人減であった。

(1) 高齢者が被害者となる交通事故が増加しているため、今後も継続して対策を行っていく。

(2) 交差点での事故が多発していることから、なお一層の交通環境整備を推進していく。